平成26年度

中小企業に向けた 情報セキュリティ普及啓発業務 実施報告書

平成27年3月16日

特定非営利活動法人 日本ネットワークセキュリティ協会

=== 目 次 ===

第1章	中小企業に向けた情報セキュリティ普及啓発業務実施概要	- 2 -
第2章	指導者育成セミナー開催概要	- 4 -
第3章	指導者育成セミナー開催地及び参加者数	- 5 -
第4章	指導者育成セミナープログラム	- 7 -
第5章	作成した教材のポイント	- 8 -
第6章	指導者育成セミナー参加者に対する支援策	- 9 -
第7章	各地の開催状況 (開催日程順)	10 -
第8章	指導者育成セミナー実施状況	22 -
第9章	開催会場からの意見	44 -
第 10 章	章 指導者による地域での講習会の開催	49 -
第 11 章	章 まとめ	55 -

第1章 中小企業に向けた情報セキュリティ普及啓発業務実施概要

【事業の目的】

我が国において、パソコンやスマートデバイスなどのIT機器が業務に浸透する一方で、情報セキュリティ業務担当者の不足は深刻であり、独立行政法人情報処理推進機構(以下、IPA)が企業を対象に調査した「2013年度情報セキュリティ被害事象状況調査報告書」(2014年1月)によると、47.6%の企業で情報セキュリティ業務担当者が不足していると回答している。また、スキル面についても 68.0%が不足していると回答している一方で、スキルを向上させるために必要となる外部講習会やセミナー実施状況については大企業で 42.4%、中小企業で 30.6%と、ともに半数以下であり、中小企業の方がより深刻な状況となっている。

このような状況に鑑み、地域の中小企業の情報セキュリティ対策を促進するため、特定非営利活動法人日本ネットワークセキュリティ協会(JNSA)では、IPAから「中小企業に向けた情報セキュリティ普及啓発業務」を請負い、日本商工会議所、全国商工会連合会、NPO IT コーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会、株式会社商工組合中央金庫、開催地の商工会議所・県商工会連合会・NPO 法人の協力のもと、中小企業に対して指導的立場にある者等(以下「指導者」という。)を対象に、情報セキュリティに関する知識・指導方法等を習得させる「指導者育成セミナー」(以下「育成セミナー」という。)を全国各地で開催し、指導者が中小企業に向けて実施する情報セキュリティ啓発活動を支援する事業を今年度も引続き推進した。

この事業は過去6年間に渡って経済産業省からの委託事業として実施してきた中小企業情報セキュリティ対策促進事業を引き継ぎ、今年度 IPA の主催で行ったもので、通算すると7年度目の事業である。本事業の趣旨と過去6年間で実施した成果と課題を反映して、中小企業に対して情報セキュリティ対策の必要性の気づきを与え、企業ごとの事業内容に応じた対策を行ってもらうことを目的とした事業となっている。地域ごとの指導的立場の人材が、情報セキュリティ対策の重要性と具体的対応を中小企業の経営者に直接指導することが、適切な情報セキュリティ対策実施のためには必要であり、今年度は、情報セキュリティ対策の運用の現状チェックと対策の見直しに重点事項を絞ったセミナー内容として実施した。

【実施施策概要】

- ・ 全国の商工会議所の職員、商工会職員、中小企業団体中央会関係者、日商マスター、EC 実践講師、中小企業診断士、ITコーディネータ及びその他情報セキュリティを指導する立場にある方々 (地場の情報セキュリティベンダーなど)を対象とした指導者向けの情報セキュリティ研修「情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー」を開催し、それにより各商工会議所の職員、商工会・都道府県中央会関係者等は、情報セキュリティ対策に関する中小企業からの質問に対応できるようにする。
- ・ 日商マスター、中小企業診断士、ITコーディネータ等のITの専門家は、研修を受講することにより、 地域の中小企業に対するIT利活用の支援等を実施する際に、情報セキュリティ対策が必要不可 欠であることについて「気づき」をもたらし、中小企業の情報セキュリティ対策の適切な実施に導くこ とができるようにする。
- ・ さらに、情報セキュリティ対策への理解と意識向上のために受講者が地域で開催する講習会を支援することとし、セミナー教材や指導用ツールを無償で提供を行うとともに、「お近くの相談員」として、本普及啓発業務ホームページに氏名を掲載する。
- ・ また、各商工会議所職員、商工会関係者、中小企業団体中央会関係者、日商マスター、中小企業診断士、ITコーディネータ及びその他情報セキュリティを指導する立場にある方々が、助言を求めることを可能とするコールセンターを、IPAの協力のもとに設置する。

第2章 指導者育成セミナー開催概要

概要:

中小企業の情報セキュリティ対策レベルの向上を図るためには、中小企業のホームページ作成や IT 化の支援などを通じて、実際に中小企業のアドバイザー的な役割を担う人々に対して、情報セキュリティ に関する知識習得の機会を提供し、中小企業の経営者などに対して、情報セキュリティ対策の必要性を アピールすることが重要であると考える。

そのため、2008 年度から6年に渡り、経済産業省と NPO 日本ネットワークセキュリティ協会(JNSA)は、地域での指導者育成を目的とした指導者育成セミナーを実施してきたが、IPA に主催が変わった今年度も、本事業趣旨を引き継いで地域での指導者育成セミナーを実施した。

対象者については商工会議所職員や商工会職員、都道府県中央会職員などの中小企業支援を業務等で行っている方々、IT コーディネータ資格保持者や中小企業診断士に加え、地場の情報セキュリティベンダーなど情報セキュリティを指導する立場にある方々もさらに参加を促し、多くの指導的立場にある方々に対して、情報セキュリティの知識習得と中小企業向け指導法習得を目的として 2014 年 10 月から翌 2 月にかけて全国で 20 回開催した。

今年度は、情報セキュリティ対策の計画と実施のチェックを行い、業務と情報システムの両面での見直 しができる人材の育成に重点を置いた前年度の内容を踏襲しながらも、特に対策実施の内容チェックと 見直しに重点を置く内容に改修し、演習を中心とした内容で企業の対策チェックや指導が体得できるプログラムとした。

期間 : 2014年 10月~ 2015年 2月

開催数 : 全国各地 19 都道府県にて 20 回開催

主催: 独立行政法人情報処理推進機構、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会

後援: 日本商工会議所、全国商工会連合会、

NPO IT コーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、

一般社団法人中小企業診断協会、株式会社商工組合中央金庫、

開催地の商工会議所・県商工会連合会・NPO 法人

定員 : 各会場 30 名~50 名

参加対象 : 商工会議所関係者(商工会議所職員、日商マスター等)、商工会関係者、

中小企業団体中央会関係者、ITコーディネータ、EC実践講師、中小企業診断士、

その他中小企業を指導する立場にある人(地場の情報セキュリティベンダーなど)

※ IT コーディネータの受講者には、ITC 協会後援セミナーとして受講修了証を発行し、 6.5 時間の知識ポイントを付与した。

第3章 指導者育成セミナー開催地及び参加者数

ブロック	開催地域名	日時	参加者	掲載頁
ノロック	(後援団体)	会場	総数(名)	拘戦只
北海道	北海道	10月27日(月)	0.4	1.1
	(札幌商工会議所)	北海道経済センター	34	11
東北	青森	12月5日(金)		
	(公益財団法人八戸地域高度技術振興センター/八戸	八戸インテリジェント	13	19
	商工会議所)	プラザ		
	宮城	2月2日(月)	31	26
	(仙台商工会議所)	仙台商工会議所	31	20
関東	埼玉	1月8日(木)		
	(特定非営利活動法人埼玉 IT コーディネータ /	大宮ソニックシティ		
	さいたま商工会議所/埼玉県商工会連合会 /		86	23
	埼玉県中小企業団体中央会/一般社団法人埼玉県商			
	工会議所連合会/公益財団法人埼玉県産業振興公社)			
	千葉	11月12日(水)		
	(柏商工会議所/特定非営利活動法人ちば経営応援	柏商工会議所	58	14
	隊)			
	東京	12月15日(月)	100	21
	(東京商工会議所)	ベルサール八重洲	100	21
	神奈川	2月5日(木)		
	(神奈川県商工会議所連合会/神奈川県商工会連合会	相鉄岩崎学園ビル	64	27
	/特定非営利活動法人 NPO 情報セキュリティフォーラム)			
	静岡	10月20日(月)		
	(静岡商工会議所/特定非営利活動法人 IT 静岡/	パルシェ	25	10
	一般社団法人静岡県中小企業診断士協会)	(JR 静岡駅ビル)		
	長野	11月14日(金)	15	15
	(松本商工会議所)	松本商工会議所	10	19

ブロック	開催地域名 (後援団体)	日時	参加者総数(名)	掲載頁
中部	愛知	11月17日(月)	50	16
	(名古屋商工会議所/一般社団法人中部産業連盟)	ウインクあいち	50	10
	富山	12月19日(金)		
	(富山商工会議所/富山県中小企業団体中央会/一般	富山県総合	35	22
	社団法人富山県情報産業協会/特定非営利活動法人I	情報センター	30	22
	Tコーディネータ富山/株式会社富山県総合情報センター)			
近畿	京都	2月13日(金)	47	29
	(京都商工会議所)	京都商工会議所	47	29
	大阪 ①	10月30日(木)	67	10
	(大阪商工会議所)	大阪商工会議所	67	12
	大阪②	12月2日(火)	CO	10
	(大阪商工会議所)	大阪商工会議所	63	18
中国	岡山	11月4日(火)	0.4	10
	(岡山商工会議所)	岡山商工会議所	24	13
	広島	1月19日(月)	2.4	25
	(広島商工会議所/NPO 法人 IT コーディネータ広島)	RCC 文化センター	34	20
四国	徳島	2月10日(火)	8	28
	(徳島商工会議所)	徳島経済産業会館	o o	28
九州	福岡	12月12日(金)	4.5	00
	(福岡商工会議所)	福岡商工会議所	45	20
	大分	1月15日(木)		
	(大分商工会議所/公益財団法人ハイハ゜ーネットワーク社会	大分商工会議所	10	24
	研究所/特定非営利活動法人大分IT経営推進センター)			
沖縄	沖縄	11月25日(火)		
	(沖縄県商工会連合会/沖縄県商工会議所連合会/	沖縄産業支援センター	26	17
	那覇商工会議所/公益財団法人沖縄県産業振興公社)			
		合 計	835	

第4章 指導者育成セミナープログラム

中小企業が情報セキュリティ対策を行うにあたって、情報セキュリティ対策の計画と実施だけでなく、実施している対策をチェックし必要に応じて見直しができる人材の育成に重点を置き、PDCA を意識して中小企業の指導ができる人材の育成に重きを置いたプログラムとした。

まず午前中は、指導者が実際に中小企業を指導する時のためのテキストを利用した指導方法の説明と、参加者のレベル(IT初心者、IT基礎理解者、IT上級者の3 レベル)に応じて2時間程度の講習会が出来るような「2時間講習プログラム」案を配布した。

また、セミナー受講後に地域で講習会を展開する参加者からの、最新動向や知識習得の要望が多いため、今年度は標的型攻撃のさらなる蔓延や、スマートデバイスやクラウドサービスを活用するうえでのセキュリティ対策といった、注目される新たな分野の最新情報や活用の注意点をはじめとして、昨今話題となっている内部不正による情報漏えいやインターネットバンキングの不正送金などのような、ニュースや事件から情報セキュリティを紐解く形での座学講習を午前中に行なった。

午後は、演習中心のプログラムとし、昨年度の演習プログラムを基本として、反省点や改善点を反映して、リスクアセスメントと対策構築の演習を1回のみにし、見直しとチェックリスト作成の演習との大きな2本立てとした。なお、リピーターの参加を考慮し、演習テーマは業種や企業規模などの内容を変えて実施した。また、チェック体制の検討も含めたチェックリスト作成後の運用確認までの仕組みを学ぶ内容として、中小企業の業務の中での PDCA を仮想体験するプログラムとして行った。

【タイムスケジュール】

◆午前	
0.20 - 0.45	【オリエンテーション】
9:30~9:45	・ご挨拶、1日の流れの説明、配布資料の説明等
	【テキストを使用した講習会の実践方法】
9:45~10:00	・講習会でのテキストの効果的な使い方について、講師用と受講者用の構成内容や解
9:45 ~ 10:00	説する際のポイントを説明。
	・2時間講習プログラムのサンプルの紹介。
10:00~12:30	【情報セキュリティ最新動向の解説】
(随時休憩)	・ニュースや事件・時事問題などをキーワードにした最新動向の解説。
	・それぞれのニュースや事件に対応するテキストのページの紹介。
12:30~13:30	昼 食
◆午後	
	【リスク洗い出し演習】
13:30~15:20	・講師による演習方法の説明
	・課題を基にリスクの洗い出しを行い発表する(グループ討議、発表)。
15:20~15:30	休 憩
15:30~16:40	【チェックリスト作成演習】
10.00 10.40	・課題を基にチェックリストを作成し発表する(グループ討議、発表)。
16:40~17:00	講師講評・セミナー終了

※ 時間帯は開催地ごとの進行により若干変更している。

第5章 作成した教材のポイント

(ア) 指導用マニュアルおよび講習用テキストの改訂内容

一昨年度において、昨今出現してきた新たな情報を盛り込み、同様内容は整理統合するなど したうえで、講習の流れに沿って解説しやすく再編集を行っており、構成や基本的な内容は非常 に高評価を得ていることから、今年度も大きな改訂は行わなかったが、新しい情報やグラフなどの データを最新化することで、今年度使用するに値する内容に改訂した。

(イ) リスク洗い出し及びチェックリスト作成演習要領の改訂内容

前年度においては、リスク洗い出し演習部分の基礎演習を業務とシステムのそれぞれ2回行い、さらにその両方を加味した応用演習の全3回行ったが、業務とシステムを分けて行うことで、受講者が混乱したり、リスク洗い出しに3回演習を行ったことで時間が不足したりといった意見が多かった。このため今年度は業務とシステムの両方の部分を一緒に検討する演習内容とし、演習をシンプルにすることで、リスクの検討や対策をいろいろな視点で討議できる時間を確保した。

また、チェックリスト作成演習は、前年度はビデオに出てくる「セキュリティ 10 則」をもとにして見直しをしたため、グループ討議での意見の出方が狭くなってしまったという反省を踏まえて、リスク洗い出し演習で行っている対策を基にして、考えられるチェックリストを独自に作成してもらう内容とした。

【参考:主な配布資料(指導者として利用するもの)】

- ・ 指導用マニュアル(講師として使用)
- 講習用テキスト(受講者用として配布する物)
- INSA 知っておきたい情報セキュリティ 理解度チェックサイト(チラシ)
- ・ 講習会サンプルスケジュール(IT 初心者向け、IT 基礎理解者向け、IT 上級者向け)
- リスク洗い出し及びチェックリスト作成演習要領
- リスク洗い出し及びチェックリスト作成演習問題と様式
- IPA「5分でできる! 中小企業のための情報セキュリティ自社診断」(パンフレット)
- I Support (チラシ)
- 映像で知る情報セキュリティ(チラシ)
- 映像で知る情報セキュリティ(DVD)
- ・ 企業(組織)における最低限の情報セキュリティ対策のしおり(小冊子)
- 2014年度版情報セキュリティ10大脅威(冊子)
- 組織における内部不正防止ガイドライン(小冊子)
- IT パスポート試験(パンフレット)
- · IPA/SEC 事業成果集
- ・ 日本商工会議所 個人情報漏えい賠償責任保険制度

第6章 指導者育成セミナー参加者に対する支援策

(ア) 指導者登録した方の指導者としての紹介

全国各地で指導者として活動していただくためのお手伝いとして、本事業の公開 Web サイトにおいて指導者として掲載するほか、JNSA に対して各地域の企業や団体から指導者の相談があった際には紹介を行った。

(イ) 指導のための支援体制

登録指導者専用 Web サイトを設置し、講習テキストや説明用スライドなどの指導するためのツールを無償で提供した。

また、指導をする中で情報セキュリティの質問がある際に専門家に相談できるよう、IPA に相談窓口を設置し、その窓口で専門的な質問への回答を行った。

(ウ) 地域における講習会開催の推奨

地域において中小企業の経営層の方々に「中小企業向け情報セキュリティ対策講習会」を実施できる方を募集し、講習用資料などの提供を行うことにより開催のための支援を実施。

指導者としての経験を積み、技術的にも経験的にも地域で信頼される指導者となってもらう機会として推奨した。

	情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー (静岡)									
	開催報告書									
日時	2014 年	10 月 20 日 ((水) 9	: 30 ~ 17 : 00						
場所	パルシェ	会議室								
主催	独立行政	法人情報処理推進機構、	、NPO 日本ネ	ットワークセキュリティ協会						
	静岡商工	会議所、NPO 法人 IT 静	岡、一般社団	日法人静岡県中小企業診断士協	会、日本商工					
後援	会議所、	全国商工会連合会、NPC)IT コーディ	ィネータ協会、全国中小企業団	体中央会、					
	一般社団	法人中小企業診断協会、	、株式会社商	打組合中央金庫						
講師	大財 健	治・山田 英史		総参加者数	25 名					
		IT コーディネータ	16名	商工会議所職員	0名					
わこ十	一参加者	中小企業診断士	8名	商工会職員	0名					
	一参加有	日商マスター	0名	中央会職員	0名					
		EC 実践講師	0名	その他	4名					
主催者	主催者・ 独立行政法人情報処理推進機構 江島 将和									
スタッ	スタッフ JNSA 林、黒川									

静岡は昨年度に引き続きの開催であった。今回もIT静岡と静岡県中小企業診断士協会に後援に入っていただき幅広く告知を行ったが、初回の開催で告知期間が短かったためか昨年よりも参加者数は増えなかった。約半数が初参加の方であった。指導経験が有る方と無い方が半々であった。



開催地からのご意見

全体の考察

アンケートでは、初回ということもあり資料がわかりにくい、演習のイメージが捉えにくいという意見が出たため、次の開催に向けて修正を行った。午前中の最新の事例はおおむね好評だったようである。

	情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー (北海道)								
	開催報告書								
日時	2014 年	10 月 27 日 ((月) 9	: 30 ~ 17	7 : 00				
場所	北海道経	済センター Bホール	1 • 2						
主催	独立行政	法人情報処理推進機構、	、NPO日本	ネットワークセ	キュリティ協会				
	札幌商工	会議所、							
後援	日本商工	会議所、全国商工会連合	合会、NPO l	T コーディネー	-タ協会、				
	全国中小	企業団体中央会、一般	社団法人中小	企業診断協会、	株式会社商工約	組合中央金庫			
講師	長谷川	長一		総参加者数		34名			
		IT コーディネータ	22 名	商工会議所職員	Ę	0名			
わこナ	一参加者	中小企業診断士	4名	商工会職員		0名			
	一参加有	日商マスター	1名	中央会職員		0名			
		EC 実践講師	0名	その他		10名			
主催者		北海道経済産業局 :	地域経済部	情報政策課	情報政策課長				
		赤坂 修司				2名			
スタッフ		JNSA 林、持田							

告知期間が短かったためか、参加人数は 昨年よりも減少した。初参加は11名とリピーターの方が多く、指導経験がある人が半 数以上であり、IT コーディネータの参加が 大半であった。最後の講師の講評では、熱 心に聞き入る参加者が多かった。



開催地からのご意見

昨年度と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識や取組は向上していると感じる との御意見であった。会議所主催の情報セキュリティに関するセミナーは年1回~5回程度実施 している様子である。

全体の考察

経験者が多いせいか、演習もスムーズに進んだようである。アンケートでは、大変勉強になった、資料が豊富で良かったという意見をいただいた。また、ビデオ演習を希望する声も聞かれた。

情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー (大阪①)								
開催報告書								
日時	2014 年	10 月 30 日 ((木) 9	: 30 ~ 17 : 00				
場所	大阪商工	会議所 地下1号会議	室					
主催	独立行政	法人情報処理推進機構、	、NPO日本	ネットワークセキュリティ協会				
	大阪商工	会議所、						
後援	日本商工	会議所、全国商工会連合	合会、NPO l	IT コーディネータ協会、				
	全国中小	企業団体中央会、一般	社団法人中小	企業診断協会、株式会社商工組合	中央金庫			
講師	山田 英	史		総参加者数	67 名			
		IT コーディネータ	47名	商工会議所職員	1名			
わら中	一参加者	中小企業診断士	10名	商工会職員	0名			
	一参加有	日商マスター	3名	中央会職員	0名			
		EC 実践講師	2名	その他	16名			
十/提 耂	フタッフ	経済産業省 近畿経済	産業局 地域	経済部 情報政策課 横井 昌弘	9 💆			
主催者スタッフ		JNSA 林、黒川、井	:上		3名			

大阪は今年度2回開催としたためか、1回の参加者は昨年度より減少した。大半がITコーディネータであるが、中小企業診断士、日商マスターなどの資格保持者も多数参加した。



開催地からのご意見

昨年度と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識の向上はあまり感じない、取り 組み始めている企業が増えているともあまり感じないとの回答であった。

全体の考察

毎年参加される方も多く、なごやかな雰囲気で行われた。アンケートでは、グループ討議は 違う視点の取り組みを知ることができるのでとても有意義だった、指導者向けなのでもっと実 践的な内容にして欲しい、などの意見をいただいた。

情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー (岡山)									
			開催報	告書					
日時	2014 年	11 月 4 日 (2	火) 9	: 30	\sim	17	:	00	
場所	岡山商工会	会議所 405 会議室							
主催	独立行政法	去人情報処理推進機構、	NPO 日本	ベネットワ	ークセ	ニキュ	リティ	協会	
	岡山商工会	会議所、日本商工会議所	听、全国商	工会連合会	会、				
後援	NPO IT =	コーディネータ協会、全	国中小企業	(団体中央	:会、一	般社団	引法人	中小企業	美診断協会、
	株式会社商	寄工組合中央金庫							
講師	本川 祐治	<u>수</u>		総参加者	首数				24 名
		IT コーディネータ	9名	商工会議	養所職員	1			3名
カ ミニ	ナー参加者	中小企業診断士	2名	商工会職	践員				0名
	/ 一参加有	日商マスター	1名	中央会職	战員				0名
		EC 実践講師	0名	こ その他			11 名		
→/ 煜=	メ フ	独立行政法人情報処理	理推進機構	江島	 爭和				2 4
主催者スタッフ		JNSA 林、井上							3名

岡山では3年ぶりの開催であったが、告知から開催まであまり時間がなかったためか参加者数は伸び悩んだ。事前申込が27名であったので、出席率は高かった。初参加が14名と半数以上であり、セキュリティの知識を持つ人が多いという印象でグループ演習もスムーズに進んでいた。



開催地からのご意見

昨年と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識は向上してきたと感じるが取り組み始めている企業が多いとは感じないとの意見であった。また、会議所主催のセキュリティセミナーの開催を行わない理由としては、まだ IT を活用していない事業所への IT 導入や利用の呼びかけ等、他に優先する事柄があったためとの御意見であった。

全体の考察

岡山で大規模な情報漏えい事件が起きたためか、会議所職員の参加が他の地域よりも多かった。アンケートでは、演習問題は現実的でありテーマとして適切だったという意見をいただいたが、演習のイメージが掴みづらい、分かりにくいという意見もいただいた。

	情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー(千葉)							
			開催報	告書				
日時	2014 年	11 月 12 日	(水) 9	: 30	~ 1	7 :	00	
場所	柏商工会詞	義所 401・402 会議	室					
主催	独立行政法	去人情報処理推進機	構、NPO 日	本ネットワ	ワークセキ	・ュリテ	ィ協会	
	柏商工会詞	義所、NPO 法人ちに	ば経営応援隊	`				
後援	日本商工会	会議所、全国商工会	連合会、NP	O IT コーラ	ディネータ	タ協会、		
	全国中小组	企業団体中央会、一	·般社団法人中	7小企業診	断協会、村	朱式会社	:商工組	合中央金庫
講師	富田一月	戊		総参加者	·数			58名
		IT コーディネータ	42名	商工会議	所職員			0名
424	- シ 加土	中小企業診断士	7名	商工会職	員			0名
123)	一一参加者	日商マスター	3名	中央会職	員			0名
		EC 実践講師	1名	その他				11 名
		経済産業省 関東	経済産業局	地域経済	部情報可	 政策課長	:	
→/ 炽⇒	エコ カ 、. コ	久世 尚史						1 57
土涯在	育 スタッフ	独立行政法人情報	处理推進機構	靖 江島 :	将和			4名
		JNSA 林、早川	、黒川					

千葉県柏市ではここ数年毎年開催しているが、今年は事前申込が66名で当日参加が58名と例年より少なく、グループ数は10で、比較的ゆったりと受講していただけた。やはりITコーディネータの参加割合が高く、初参加の方が30名であった。



開催地からのご意見

昨年と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識向上はあまり感じないとの意見であった。意識はあるが、それに対応できる予算、時間がとれない事業所がほとんどという様子。 今回のセミナー参加者には、商工会議所主催セミナーなどで講師として活用したいとの御意見を 頂戴した。

全体の考察

初参加の方が半数以上であったが、リピーターの方が議論を推進している様子がうかがえた。 演習の発表でも、システムをクラウドに置き換える、運用全体を見直す等レベルの高い意見を挙 げたグループもあった。アンケートでは、もっと時間をかけた研修をして欲しい、演習の難易度 が高かった、資料が豊富で参考になる、等の意見をいただいた。

	情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー (長野)									
	開催報告 書									
日時	2014 年	11 月 14 日 (会	脸) 9	: 30 ∼	17 :	00				
場所	松本商工会	会議所 601 会議室								
主催	独立行政法	去人情報処理推進機構	、NPO 日	本ネットワーク	ヒキュリテ	イ協会				
	松本商工会	会議所、								
後援	日本商工会	会議所、全国商工会連	合会、NP(O IT コーディネ	ータ協会、					
	全国中小红	企業団体中央会、一般	社団法人中	小企業診断協会	、株式会	社商工組	合中央金庫			
講師	小柴 宏言	7		総参加者数			15名			
		IT コーディネータ	10名	商工会議所職員	Į		0名			
カ ミュ	一一参加者	中小企業診断士	2名	商工会職員			0名			
	一参加有	日商マスター	1名	中央会職員			0名			
	EC 実践講師 0名 その他									
十/岁3	キ フ タ ハ フ	独立行政法人情報処	理推進機構	打島 将和			9 %			
主催者スタッフ		JNSA 林					2 名			

長野県松本市では 4 年ぶりの開催であった。15 名 (内 4 名は午前のみ参加) 3 グループとグループ数が少なかったので検討と発表に時間をかけて行うことができた。約半数が初参加の方であったが、3回目以上の方も5名と慣れている方が多く見受けられた。



開催地からのご意見

昨年度の情報セキュリティのセミナー年間開催数は1回~5回程度であった。

昨年と比較しても情報セキュリティに対する中小企業の意識向上はあまり感じないとの意見 を頂戴した。

全体の考察

人数が少なかったので演習もなごやかに進んだ様子であった。アンケートでは、少人数だった ので検討の時間が多くできて良かったという意見をいただいた。

	情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー (愛知)								
	開催報告書								
日時	2014 年	11 月 17 日 ((月) 9	: 30 ~ 17 : 00					
場所	ウインク	あいち 1001 会議室							
主催	独立行政	法人情報処理推進機構、	NPO 日本	ネットワークセキュリティ協会					
	名古屋商	工会議所、一般社団法。	人中部産業連	盟、					
後援	日本商工	会議所、全国商工会連合	合会、NPO I	[T コーディネータ協会、					
	全国中小	企業団体中央会、一般	社団法人中 小	企業診断協会、株式会社商工組	.合中央金庫				
講師	長谷川	長一		総参加者数	50名				
		IT コーディネータ	39名	商工会議所職員	0名				
424	之 加土	中小企業診断士	8名	商工会職員	0名				
1237	一参加者	日商マスター	1名	中央会職員	0名				
		EC 実践講師	その他	9名					
子/出 立	77.7	経済産業省 中部経済	育産業局 情	報政策室長 長谷川 貴弘	0 17				
主催者スタッフ		JNSA 井上、林、黒川			3名				

50 名の参加となり、初めてセミナーに参加した方は26名と約半数であった。39名がITコーディネータ資格保持者と、割合が高かった。指導経験のない方は30名であった。



開催地からのご意見

以前と比較して中小企業の情報セキュリティに対する意識は向上してきたと感じるが、前年 度と比較して取り組みは向上しているとはあまり感じないとの御意見をいただいた。

指導者的立場の人材の現状については、十分ではないがいるとのご意見を頂戴した。

全体の考察

午後の演習の資料と講師用スライドが統一されていなかったため、混乱する受講者もいらした (次回より修正)。演習では議論は活発に行われていたが、演習時間が短いという声が多数聞かれた。

	情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー (沖縄)							
		開	催報告書					
日時	2014 年 11	月 25 日 (火)	9 :	30 ~	17	:	00	
場所	沖縄産業支援セ	ンター 302・303 会詞	義室					
主催	独立行政法人情	報処理推進機構、NPC) 日本ネッ	トワークセキ	テュリテ	イ協会		
	沖縄県商工会連	合会、沖縄県商工会議	所連合会、	那覇商工会	議所、			
後援	公益財団法人沖縄県産業振興公社、							
1 後接	日本商工会議所、全国商工会連合会、NPO IT コーディネータ協会、							
	全国中小企業団	体中央会、一般社団法	人中小企業	診断協会、	株式会	社商工組	l合中央金庫	Ī
講師	西本 逸郎			総参加者数	女		2	26名
		IT コーディネータ	13名	商工会議所	斤職員			0名
424	· 乡加丰	中小企業診断士	0名	商工会職員	1			0名
1237	一参加者	日商マスター	0名	中央会職員	1			0名
EC 実践講師				その他			-	13名
十/ 煜孝	フカッフ	内閣府沖縄総合事務	局 経済産業	羊部 地域経済	斉課 ナ	大城 弘	文	0 2
主催者スタッフ		JNSA 林、持田						2名

出席者 26 名のうち半数が IT コーディネータ であった。例年沖縄では女性の参加が多いが、 今回は少なかった。指導経験がない方の参加が 18 名と割合が高かった。



開催地からのご意見

昨年度と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識は向上してきたと感じるが、取組を 始めている企業が増えているとはあまり感じないとの御意見であった。

また、今年度は5回~10回程度の情報セキュリティセミナーの開催を予定しているとの事であった。今回のセミナー参加者には商工会等が主催でセミナー等を開いて、講師として活用したいとのご意見も頂戴した。

全体の考察

なごやかな雰囲気でディスカッションが進められていた。アンケートではおおむね好評であったが、沖縄では経営者向けセミナーの開催が少なかったら参加状況が良くなかったり意識の低さを感じるという意見もうかがえた。

	情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー (大阪②)							
	開催報告書							
日時	2014 年	12 月 2 日 ((火) 9	: 30 ~ 17 : 00				
場所	大阪商工	会議所 地下1号会議	室					
主催	独立行政法人情報処理推進機構、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会							
	大阪商工会議所、							
後援	日本商工会議所、全国商工会連合会、NPO IT コーディネータ協会、							
	全国中小	企業団体中央会、一般	社団法人中小	企業診断協会、株式会社商工組	合中央金庫			
講師	嶋倉 文	裕		総参加者数	63 名			
		IT コーディネータ	41 名	商工会議所職員	0名			
カミナ	一参加者	中小企業診断士	6名	商工会職員	1名			
	一参加有	日商マスター	2名	中央会職員	1名			
		EC 実践講師	2名	その他	17名			
十/22	フカッフ	経済産業省 近畿経済	産業局 地域	経済部 情報政策課 横井昌弘	2 4			
主催者スタッフ		JNSA 林、黒川、井	:上		3名			

大阪2回目の開催ということで、1回目とほぼ同じ人数の参加者であった。セミナー初参加の方は約半数で、今回は指導経験がない方が40名と割合が多かった。



開催地からのご意見

昨年度と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識の向上はあまり感じない、取り 組み始めている企業が増えているともあまり感じないとの回答であった。

全体の考察

大規模会場ではどうしても駆け足の発表になってしまい、もう少しゆっくり考えたかった、 時間が足りなかった、という声がアンケートでは多かったが、座学だけでないのが良かった、 実際に手を動かして考えることで整理ができた、という意見もいただいた。

	情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー (青森)											
	開催報告書											
日時	2014 年	≟ 1	2 月	5 目	(金)	9 :	30	~	17	:	00	
場所	八戸インテリジェントプラザ アイピーホール											
主催	独立行政	法人	情報外	処理推進機	構、N	NPO 日本	ネットワ	リークセ	キュリ	ティ協	会	
	公益財団法人八戸地域高度技術振興センター、八戸商工会議所											
後援	日本商工	会議	議所、全国商工会連合会、NPO IT コーディネータ協会、									
	全国中小	企業	団体	中央会、一种	般社区	団法人中/	企業診	断協会、	株式会	会社商 🗆	C組合	中央金庫
講師	山田 芽	史					総参加	者数				13名
			IT コ	ーディネー	タ	3名	商工会議所職員			名		
わこけ	一参加者		中小台	2業診断士		1名	商工会理	職員				名
	一参加有		日商~	アスター		1名	中央会局	職員				名
			EC 実	践講師		名	その他					8名
			東北経済産業局 地域経済部 情報製造産業課									
主催者	育スタッフ		課長	柏 芳朗、	課長	補佐 多	孫 近					2名
			JNSA	、 井上、黒	<u>[]</u>							

事前参加申込み 13 名全員の出席があった。2 名が午前中のみで、午後は 11 名 3 グループで 討議した。グループ人数が少ない分、十分に検 討することが出来たと思われる。

過去の受講経験者 1 名が午後欠席となったため、経験者 2 名のみでのグループワークとなったグループがあった。



開催地からのご意見

全体の考察

なごやかな雰囲気でディスカッションが進められていた。グループが少ないため、発表内容に 対する講師による解説の時間を十分にとることができた。企業間の交流の場になったので良かっ た、次年度も八戸で開催してほしいとのご意見や、青森市での開催希望も頂戴した。

実際に行われている講習会の時間や、テキスト、講師資料の利用、現場での課題など指導する にあたることを前提とした質問があった。

	情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー (福岡)							
	開催報告書							
日時	2014 年	- 12 月 12 日 ((金) 9	: 30 ~ 17 : 00				
場所	福岡商工会	会議所 401~403 会議	室					
主催	独立行政法	去人情報処理推進機構、	NPO 日本	ネットワークセキュリティ協会	•			
	福岡商工会議所、							
後援	日本商工会	工会議所、全国商工会連合会、NPO IT コーディネータ協会、						
	全国中小组	企業団体中央会、一般社団法人中小企業診断協会、株式会社商工組合中央金庫						
講師	大財 健活	台		総参加者数	45 名			
		IT コーディネータ	30名	商工会議所職員	0名			
からす	一参加者	中小企業診断士	5名	商工会職員	0名			
	一参加有	日商マスター	0名	中央会職員	1名			
		EC 実践講師	0名	その他	15 名			
		九州経済産業局地域総	圣済部 情報	政策課				
十/煜⇒	音スタッフ	宮原泰宏、原口 敦一	子		3名			
土涯名	ョヘクツノ	独立行政法人情報処理	里推進機構	江島 将和	3 泊			
		JNSA 林、持田						

例年よりも県外からの参加者が多かったように感じた。初めての参加者が27名と割合が多かった。



開催地からのご意見

昨年度と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識の向上はあまり感じられないと の御意見であり、情報セキュリティ対策に取り組み始めている中小企業も増えているとは感じ られないとの事。地域における指導的立場の人材についてもあまりいないとのご意見を頂戴し た。

全体の考察

新幹線開通のためか、例年よりも鹿児島県からの参加が多かった。九州で情報セキュリティに携わる方が多かったようで、和気藹々とした雰囲気で進められた。アンケートでは、ビデオを使ったリスク洗い出し演習の方が良いという声も複数あったが、グループ分けの演習は他者とのコミュニケーションが取れるので良かったと言う意見もいただいた。

	情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー (東京)							
	開催報告書							
日時	2014 年	12 月 15 日 ()	月) 9	: 30 ~ 17 : 00				
場所	「 ベルサール八重洲 B+C							
主催	独立行政法	去人情報処理推進機構、	NPO 日本	ネットワークセキュリティ協会	7			
	東京商工会	:議所、						
後援	日本商工会議所、全国商工会連合会、NPO IT コーディネータ協会、							
	全国中小企業団体中央会、一般社団法人中小企業診断協会、株式会社商工組合中央金庫							
講師	長谷川 县	₹—		総参加者数	100名			
		IT コーディネータ	81名	商工会議所職員	0名			
400	ナー参加者	中小企業診断士	12名	商工会職員	0名			
	/ 一参加有	日商マスター	1名	中央会職員	0名			
		EC 実践講師	0名	その他	21 名			
		経済産業省 関東経済	斉産業局 地	地経済部 情報政策課長				
		久世 尚史						
主催者	旨スタッフ	独立行政法人情報処理	里推進機構	山北 治、江島 将和、	6名			
		黒岩 康子						
		JNSA 林、早川、黒	!]					

東京では今年度は1回開催のため、参加者は100名と一番多かった。ほとんどがITコーディネータだが中小企業診断士の参加割合も多かった。初めての参加者が約半数で、講師経験の無い参加者の方が多かった。



開催地からのご意見

今年度の情報セキュリティに関するセミナーの開催は1回~5回の予定で、昨年度に比べて情報セキュリティに対する中小企業の意識、取組は向上しているとはあまり感じないとの事であった。

専門家による直接指導のような施策を実施してみたいが、謝金等の予算の手配が難しいので、 良い方法があったら教えていただきたいとのご意見を頂戴した。

全体の考察

東京での開催ではあったが、会場も広く、比較的余裕をもって開催することができた。アンケートでは、東京では複数回開催して欲しい、土日などの休日に開催して欲しい、といった要望もいただいた。

	情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー(富山)							
			開催報告	書				
日時	2014 年	12 月 19 日 ((金) 9	: 30 ~ 17 : 00				
場所	富山県総	合情報センター 1F t	アミナー室					
主催	独立行政	法人情報処理推進機構、	、NPO日本	ネットワークセキュリティ協会	<u>></u>			
	富山商工会議所、富山県中小企業団体中央会、一般社団法人富山県情報産業協会							
後援	NPO 法人 I Tコーディネータ富山、株式会社富山県総合情報センター							
1友1友	日本商工	日本商工会議所、全国商工会連合会、NPO IT コーディネータ協会、						
	全国中小企業団体中央会、一般社団法人中小企業診断協会、株式会社商工組合							
講師	小柴 宏	記		総参加者数	35 名			
		IT コーディネータ	17名	商工会議所職員	0名			
424	一参加者	中小企業診断士	2名	商工会職員	0名			
1237	一参加有	日商マスター	2名	中央会職員	1名			
		EC 実践講師	0名	その他	13 名			
上/ 煜 孝	フカッフ	中部経済産業局 情幸	吸策室長	長谷川 貴弘	0 ½			
主催者スタッフ		JNSA 持田・林	2名					

35名と昨年よりも参加者は増えた。初参加の方が約半数であった。顔見知りの方も多いようで、演習もなごやかな雰囲気で進められた。7グループで進めたので、全グループに発表してもらうことができた。



開催地からのご意見

情報セキュリティに対する中小企業の意識ついては、あまり感じない、まだセキュリティは後回しにされているように感じるという御意見であった。情報セキュリティに関するセミナーは年に $1\sim5$ 回程度独自に開催されている。

全体の考察

アンケートでは、グループ討議を行うことで気付きがあり勉強になった、テキストが良くできていた活用できそう、などの意見をいただいた。

	情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー (埼玉)								
	開催報告書								
日時	2015 年	1 月 8 日 (オ	() 9 :	30	\sim 17	:	00		
場所	大宮ソニッ	クシティ 市民ホール	× 401 · 402	2					
主催	独立行政法人情報処理推進機構、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会								
	NPO 法人埼玉 IT コーディネータ、さいたま商工会議所、埼玉県商工会連合会								
	埼玉県中小企業団体中央会、一般社団法人埼玉県商工会議所連合会								
後援	公益財団法人埼玉県産業振興公社、								
	日本商工会	議所、全国商工会連合	会、NPO	IT コーデ	ィネータ協	会、			
	全国中小企	業団体中央会、一般社	上団法人中/	小企業診断	協会、株式	会社商	工組合「	中央金庫	
講師	山田 英史			総参加者	数			86 名	
		IT コーディネータ	56名	商工会議	所職員			0名	
カ ミー	ナー参加者	中小企業診断士	11 名	商工会職	員			0名	
	/ 一参加有	日商マスター	1名	中央会職	Ę			0名	
		EC 実践講師	0名	その他				26 名	
関東経済産業局 情報政策課 課長					三枝 徳	 行			
主催者	皆スタッフ	独立行政法人情報処	理推進機構	靠 江島 丰	 爭和			4名	
		JNSA 林、黒川、菅	原						

参加人数は昨年度とほぼ同数であった。IT コーディネータの割合が多く、始めて参加される方が半数近かった。広く群馬や東京から参加される方も見受けられた。経験豊富な方が多く、演習でも活発な意見交換が見受けられた。



開催地からのご意見

前年度と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識は少しずつ意識はされ出していると感じ、対策に取り組む企業も増えているとのご意見を頂戴した。今年度の情報セキュリティに関するセミナーは 1~5 回程度実施予定との事でした。

また、本セミナーの開催時期について、出来れば4月~9月の開催とし、10月前後には指導者の講習会を開催できるよう、早期開催を希望したいとのご意見を頂戴した。

全体の考察

アンケートの午前の座学については、指導者向けセミナーなのでもっと踏み込んだ内容が良かった、一般的な内容が多かった、と言った厳しい意見もいただいた。演習については、グループディスカッションはおもしろかった、ワークショップで理解が増した、というような好意的な意見が多かった。

	情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー (大分)							
			開催報告	書				
日時	2015 年	1 月 15 日	(木) 9	: 30 ~ 17 : 00				
場所	大分商工会議所 中ホール							
主催	独立行政法人情報処理推進機構、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会							
	大分商工会議所、公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所、							
後援	特定非営利活動法人大分 IT 経営推進センター、							
仅1万	日本商工	日本商工会議所、全国商工会連合会、NPO IT コーディネータ協会、						
	全国中小	企業団体中央会、一般	社団法人中小	、企業診断協会、株式会社商工組	合中央金庫			
講師	嶋倉 文	裕		総参加者数	10名			
		IT コーディネータ	2名	商工会議所職員	0名			
カミナ	一参加者	中小企業診断士	2名	商工会職員	0名			
	参加有	日商マスター	1名	中央会職員	0名			
		EC 実践講師	0名	その他	4名			
主催者	÷ •	九州経済産業局 地	或経済部 情	報政策課 原口 敦子	2名			
スタッ	フ	JNSA 持田、林			2名			

告知協力を仰いだが参加者は 10 名と伸び悩み、3グループでの実施となった。ほぼ 10 名中 6 名が初参加であった。演習では全グループに発表してもらうことができ、人数が少ない分穏やかな雰囲気で進められた。



開催地からのご意見

昨年度と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識も取組みもあまり向上したとは 感じないとのご意見をいただいた。指導的立場の人材については、十分ではないけどもいると 感じるとの事。

情報セキュリティに関するセミナーの今年度の開催予定はなく、会員からの要求がない事が 理由として大きい様子。

指導員として対応できる方がいた場合には、中小企業に指導員がいることを案内して、直接 指導してもらいたいとのご意見を頂戴した。

全体の考察

参加人数が少なく、講師もきめ細やかに対応できたためか、アンケートでの評価はおおむね 好評であった。

	情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー (広島)								
	開催報告書								
日時	2015 年	1 月 19 日 (月	9 :	$30 \sim 17$:	00				
場所	RCC 文化センター 703、704 会議室								
主催	独立行政法	独立行政法人情報処理推進機構、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会							
	広島商工会議所、NPO 法人 IT コーディネータ広島								
後援	日本商工会	工会議所、全国商工会連合会、NPO 法人 IT コーディネータ協会、							
	全国中小企	業団体中央会、一般社	上団法人中/	小企業診断協会、株式会社商 I	組合中央金庫				
講師	大財 健治			総参加者数	34 名				
		IT コーディネータ	26名	商工会議所職員	名				
424	- 乡加老	中小企業診断士	4名	商工会職員	名				
	一一参加者	日商マスター	名	中央会職員	名				
		EC 実践講師	1名	その他	9名				
主催者スタッフ		独立行政法人情報処理推進機構 江島 将和							
		JNSA 井上、黒川			3名				

申込者の8割がITC保持者で、過去の参加経験のある方であった。

途中参加者も含め午前中は34名の出席があったが、6名が午前中で退出し、午後からの参加者が2名で、グループ討議は30名で進められた。過去に受講経験がある参加者が多く、講師経験もあることから、活発に討議していた。

開催地からのご意見

前年度と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識は向上してきたと感じるが、対策 に取組み始めている企業が増えているとはあまり感じないとのご意見を頂戴した。

また、講習会報告書謝金制度について、セミナー講師ができる点は評価できるが、1 社に対するセミナーは除外するなど運用が難しい。まずは個社でも OK として広めることが先決ではないか?プライバシーマーク等の社内教育にも活用できる制度にして欲しいとのご意見を頂戴した。

全体の考察

説明時間は5分ほど超過したところもあるが、休憩時間などの調整でほぼ時間通り進められた。午前中の説明では、リピーターが多い事もあり、対策は日ごろからの意識が必要であり、教育が重要であることを補足した。政府の動向も、関心を持って頂いたと感じた。

グループは7グループで行い、午前で退席されて3名のグループもあった。全体的にテーマを選択するときに、①②に偏った発表となった。発表も各グループ $2\sim3$ 分とスムーズに終了したので、7グループ全て発表してもらい、終了した。

	情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー (宮城)								
	開催報告書								
日時	2015 年	2 月 2 日 (月) 9	: $30 \sim 17$: 00					
場所	仙台商工会	仙台商工会議所 7階大会議室							
主催	独立行政法	人情報処理推進機構、	NPO 目	本ネットワークセキュリティ協会					
	仙台商工会	仙台商工会議所、							
後援	日本商工会	議所、全国商工会連合	合会、NP	OIT コーディネータ協会、					
	全国中小企	業団体中央会、一般社	土団法人中	小企業診断協会、株式会社商工組	合中央金庫				
講師	冨田 一成			総参加者数	31名				
		IT コーディネータ	18名	商工会議所職員	0名				
からす	一一参加者	中小企業診断士	1名	商工会職員	0名				
	一参加有	日商マスター	0名	中央会職員	0名				
		EC 実践講師	0名	その他	14名				
		東北経済産業局 地址	或経済部	情報·製造産業課 小山田 雄弥					
主催者	イスタッフ	独立行政法人情報処	理推進機	構工島将和	3名				
		JNSA 林、黒川							

参加者 31 名のうちの大半が講師経験無 しの方であった。6 グループで行ったので 演習は余裕をもって進められた。



開催地からのご意見

昨年度と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識は向上してきたと感じるが、対 策に取り組む企業が増えたとはあまり感じないとのご意見を頂戴した。

指導員として対応できる方がいた場合、講師などは指導できる機会も難しいとの事であった。

全体の考察

アンケートでは、内容が充実している、講師の話が聞きやすくて良かったなど好評であった。 また、他者との交流やグループ討論の効率的な進め方などの面で有効であったとの御意見もい ただいた。

	情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー (神奈川)							
	開催報告書							
日時	2015 年	至 2 月 5	日 (木)	9	: 30 ~	17 :	00	
場所	相鉄岩崎学園ビル 8 階 807 号室							
主催	独立行政法	5人情報処理推進	機構、NF	O 日本ネッ	ノトワークセ	キュリテ	イ協会	
	神奈川県商工会議所連合会、神奈川県商工会連合会、							
後援	日本商工会議所、全国商工会連合会、NPO IT コーディネータ協会、							
	全国中小企業団体中央会、一般社団法人中小企業診断協会、株式会社商工組合中央金庫							
講師	山田 英史	1			総参加者数			64 名
		IT コーディネー	ータ	47名	商工会議所	職員		0名
424	⊢ー参加者	中小企業診断士	-	13名	商工会職員			0名
123)	一参加有	日商マスター		1名	中央会職員			0名
		EC 実践講師		0名	その他			15 名
		経済産業省 関	東経済産	業局地域	成経済部 情·	報政策課	長	
主催者	-	久世 尚史						4 57
スタッ	ノフ	独立行政法人情	青報処理推	進機構 江	二島 将和			4名
		JNSA 持田、	林、黒川					

申込が105名で64名の参加と出席率は低かった。講師経験無しの方の参加が多く、初参加は37名であった。IT コーディネータの方が多く、慣れている感じで、ディスカッションもスムーズに進んでいるよう見受けられた。



開催地からのご意見

昨年度と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識は向上してきたが、対策に取り組む企業が増えたかどうかについては、正直よく分からないとのご意見をいただいた。指導的立場の人材については、全体として決定的に不足しているように感じるとの事。

情報セキュリティに関するセミナーの今年度の開催予定数は11回以上。

指導員が中小企業にリーチできる仕組みが必要であり、中小企業にとっては、指導員がどのようなタスクに対応できるのか、レベルにあるのか分かるように「i コンピデンシ・ディクショナリ」などで視覚化できると良いとのご意見を頂戴した。

全体の考察

当日は朝から冷えて途中から雪となったが、積もることは無かったので帰りの電車等への影響は 無かった。アンケートでは、午前の座学の評判が良かったようで、最新動向の情報が得られて参 考になったという意見を頂戴した。午後の演習はやはり時間が足りないという声が多かった。

	情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー (徳島)							
			開催報告書					
日時	2015 年	2 月 10 日 ((火) 9	: 30 ~ 17 : 00				
場所	徳島経済産業会館(KIZUNA プラザ)							
主催	独立行政法人情報処理推進機構、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会							
	徳島商工会議所、							
後援	後援 日本商工会議所、全国商工会連合会、NPO IT コーディネータ協会、							
	全国中小企	業団体中央会、一般社	:団法人中小企	業診断協会、株式会社商工組合中	中央金庫			
講師	本川 祐治	ì		総参加者数	8名			
		IT コーディネータ	4名	商工会議所職員	0名			
からす	トー参加者	中小企業診断士	0名	商工会職員	1名			
	多加相	日商マスター	0名	中央会職員	0名			
		EC 実践講師	0名)名 その他				
主催者	·	独立行政法人情報処理	里推進機構 江	[] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [3名			
スタッ	ノフ	JNSA 持田、林			3 名			

参加申込みが 10 名で参加者は 8 名であった。初参加は 5 名、3 回目以上が 3 名で、2 グループでの進行となった。人数は少なかったがその分密度の濃い演習を行うことができた。



開催地からのご意見

昨年度と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識も取組みもあまり向上したとは 感じないとのご意見をいただいた。指導的立場の人材については、十分ではないけどもいるとの 事であった。

指導員として対応できる方がいた場合、中小企業に指導員がいることを案内して、直接指導してもらいたいとのご意見を頂戴した。

全体の考察

徳島では3年ぶりの開催となった。徳島商工会議所様に集客のご協力をいただいたが、参加者が少なくて残念であった。アンケートでは、チェックリストはぜひ活用してみたい、講習会サンプルスケジュールには経営者向け・パート社員向けなどの区分があるとさらに使いやすいのでは、という御意見もいただいた。

	情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー (京都)								
開催報告書									
日時	2014 年	2 月 13 日	(金) 1	$10 : 00 \sim 17$: 00				
場所	京都商工	商工会議所 2 階教室							
主催	独立行政	法人情報処理推進機構、	NPO 日本ネ	ットワークセキュリティ協	会				
	京都商工会議所、								
後援	後援 日本商工会議所、全国商工会連合会、NPO IT コーディネータ協会、								
	全国中小	企業団体中央会、一般社	一团法人中小企	業診断協会、株式会社商工	組合中央金庫				
講師	富田一	成		総参加者数	47名				
		IT コーディネータ	21 名	商工会議所職員	2名				
404 =	£hn±∕	中小企業診断士	3名	商工会職員	0名				
セミナー	多 加有	日商マスター	3名	中央会職員	2名				
		EC 実践講師	0名	その他	16名				
		近畿経済産業局 地域線	経済部 情報政	:策課 課長 石原 康行					
主催者スタッフ		独立行政法人情報処理	4名						
		JNSA 井上、林、持	田						

京都会場は、例年どおり県内の指導員研修 という位置付けであったことで、会議所・商 工会の指導員や中央会職員の参加が多かっ た。12 グループとグループ数は多かったが発 表を絞ることで全グループに発表していただ いた。



開催地からのご意見

昨年度と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識の向上や、取り組み始めている企業数の増加もあまり感じないとの回答であった。また、今年度の情報セキュリティに関するセミナーの開催予定はなく、理由としては「指導者育成セミナー」で十分という事であった。

全体の考察

セミナー途中から雪が降り始めたせいもあり、会場が寒いとの声も聞かれた。セミナーについては大変役に立った、社内教育などでセミナーの進行に困るので今回参加して良かった、ビデオを使った演習も再度検討して欲しい、などの声をいただいた。

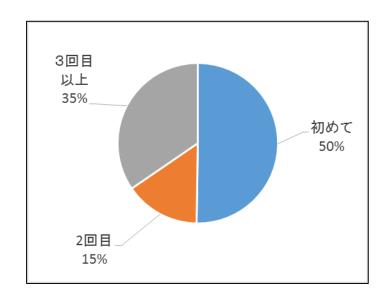
第8章 指導者育成セミナー実施状況

セミナー参加者に対して受講後アンケートを行い 794 名分を回収し、今回のセミナーに関する意見を取りまとめた。参加の状況及び、受講をした感想について集計し、実施効果の把握とともに今後の課題などについて分析を行った。

今年度は、20 会場で1,156 名申込みがあり、そのうち835 名の参加(出席率72.2%)となった。前年度は、21 会場で1,429 名が申込み、うち1,019 名参加であり、前年度に比べて参加者数は若干少なくなったものの、申し込みからの出席率は72.2%であり昨年(71.3%)よりも若干向上し効率的な運営を行うことができた。

(ア) 過去のセミナー参加状況

回答項目	回答数
初めて	384 名
2回目	116名
3回目以上	264 名
승計	764名

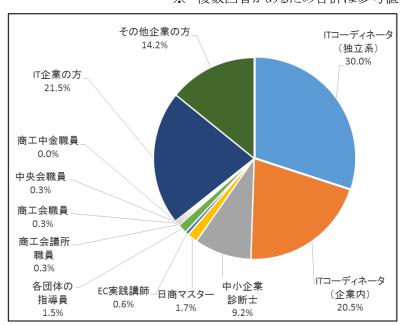


「過去にも参加」が座学・演習併用形式を採用した 2009 年度から継続して増加傾向にあり、今年度も前年度からやや増加し 50% (前年度は 49%)。特に今年は 3回目以上が 35% (前年度は 27%)と長年参加いただいている方のリピート率が上昇。これはセミナープログラム検討に当たり、過去参加者が受講しても退屈しない内容になるよう変更しており、指導力アップを期待する過去のセミナー参加者による座学・演習併用形式の評価が更に浸透し、地域での口コミ等も奏功した結果によるものと思われる。

(イ)参加者の立場

回答項目	回答数
IT コーディネータ(独立系)	307名
IT コーディネータ(企業内)	210名
中小企業診断士	94名
日商マスター	17名
EC 実践講師	6名
各団体の指導員	15名
商工会議所職員	3名
商工会職員	3名
中央会職員	3名
商工中金職員	0名
IT 企業の方	220 名
その他企業の方	145 名
合計	1,023 名

※ 複数回答があるため合計は参考値



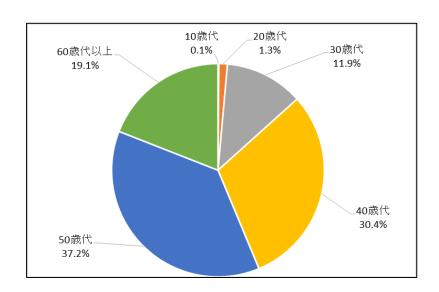
本事業趣旨に沿って、商工会議所、商工会職員及び IT コーディネータなど、地域でIT化を支援している人材に参加してもらうことを想定して開催した。実際の参加状況は、ITコーディネータの参加が 5 割(前年度 53.7%)、中小企業診断士が 9.2%(前年度 8.1%)と、例年とほぼ同様の傾向で参加をいただいた。

課題としては、中小企業経営者と密接な関係を持つ商工会議所等職員と IT 企業やその他企業からの参加者の増加であろう。今年度は IT 企業からの参加が 21.5% (前年度 17.9%)と若干増加したものの、それぞれ保有スキルや日常での活動内容が異なるため、セミナープログラムや事

後のフォロー方法の検討を考える必要がある。特に地域で中小企業経営者等に対する講習会を 実施してもらうことを想定すると、中小企業の方々と日頃の仕事で関係性を持った方に参加いた だくことが重要であり、これまで参加が少なかった立場の方々が興味を持ち、なおかつ参加しや すいプログラムも検討する必要があるだろう。

(ウ) 参加者の年代

回答項目	回答数
10 歳代	1名
20 歳代	10 名
30 歳代	92 名
40 歳代	234 名
50 歳代	287 名
60 歳代以上	147 名
合計(回答数)	771名

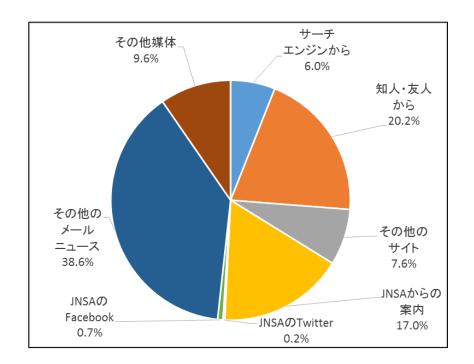


参加者の年齢層は、ほぼ例年と同様の傾向となっており、今年も 50 歳代が 37.2%(前年度 34.0%)と一番多く、次に 40 歳代の 30.4%(前年度 31.8%)と、40·50 歳代で 67.6%(前年度 65.8%)と前年度と同じく 7 割近くを占めている。また、30 歳代も若干前年よりわずかに上昇し 11.9%と二桁の構成比率で参加しており、幅広い年代層の参加があったともいえる。

しかし、地域での指導的役割を考えた場合には、参加者の地域での活動影響度や立場との相関などを考察し、指導者に必要な人材の発掘と育成をさらに検討する必要がある。例えば今後一層参加してほしいと考えている商工会議所等職員やIT企業、その他企業からの参加者の場合には、実務者の参加が多いことが予想されるため、短時間コースを設けるなど、若い年代にいかに参加しやすくするかという検討も必要となるであろう。

(エ) セミナーを知ったきっかけ

回答項目	回答数
サーチエンジンから	50
知人・友人から	168
その他のサイト	63
JNSA からの案内	141
JNSA O Twitter	2
JNSA Ø Facebook	6
その他のメールニュース	321
その他媒体	80
合計	831



今年度は、前年まで比率が多かった JNSA からの案内に代わり、その他のメールニュースでの申し込みが38.6%(前年度25.0%)と多かった。友人・知人からの紹介といった口コミも20.2%と前年度19.7%とわずかだが増加した。

口コミ比率を上げるために、前々年度より JNSA の Facebook や Twitter なども利用し始めているが、まだまだ単独での告知メディアとしては活用できていない。しかしながら、その他のメールニュースには ITC 協会や地域 ITC 団体からのメルマガが多く、ITC への浸透がされてきていることが成果につながってきている。

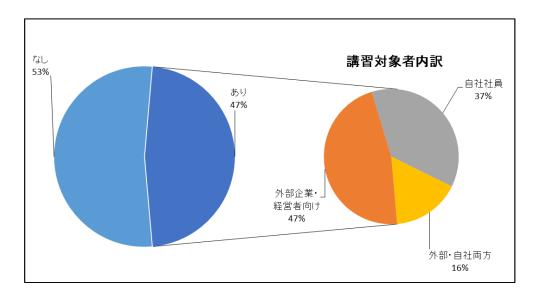
現状での基本的な集客活動としては、メールでお知らせを行うことで、ホームページに誘導したり、地域団体で協力し合い各ホームページでの相互リンクを行うなどの集客方法が、参加者の層

を考えた場合にはまだまだ効果が高いと考えられ、同様内容のセミナーでの有効な集客手段といえる。

今後は、増加してほしい立場の方たちが目にしやすい機会や媒体を考えたうえで、SNS などのマーケティングツールも含めて活用して行くべきであろう。

(オ) 過去に指導した経験の有無と実施対象者別内訳

回答項目	回答数
なし	390名
あり (外部企業・経営者向け)	163名
あり (自社社員)	129名
あり (外部・自社両方)	57名
合計	739名



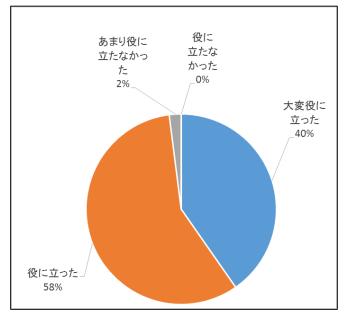
指導経験は47%があると回答し、前年の49%より若干減少したもののほぼ同比率であった。外部の方向けに実施した経験者も、自社社員向けの両方経験者も含めて63%で前年度の65%とほぼ同等という結果となった。社内向けに行う場合と外部の方に行う場合の違いとしては、外部の方向けでは指導側と受講側で保有している情報が違うことでの情報の重要性やリスク認識の違いがあるため、受講する側の立場に立って講習をしたり、補足説明を行う必要が出てくる。このような背景から、多様な受講者を意識して研修プログラムを組み立てる必要があることを午前の解説で説明した。

(カ) セミナー内容

ここからの設問については、セミナーの中でのそれぞれの講習内容や演習プログラムが、中小 企業の指導の観点で利用できそうかについて調査した。

① 情報セキュリティ最新動向の解説

回答項目	回答数
大変役に立った	318 名
役に立った	455 名
あまり役に立たなかった	16 名
役に立たなかった	0名
合計	789 名



前年度までのセミナーアンケートの意見の中には、情報セキュリティの最新動向や話題となっているキーワードの解説を望む声が多かった。これには、セミナー受講後に地域で講習会をする際には、ただ単に受講者用テキストを使って講習を行うだけでは経営者に興味を持ってもらえないことや、最新の情報を伝えることで、より対策に重要性を感じてもらえるというものである。このため、前年度にも行った最新動向の解説の時間帯を約2倍に増やし、さまざまなキーワードや事件から最新動向やニュースの背景を解説した。

最近のニュースから、国の情報セキュリティ政策、内部不正による情報漏えい、サイバー攻撃による不正アクセス、オンラインバンキング不正送金といった、実際に起こった事件を基に解説。また IPA の 2014 年版情報セキュリティ 10 大脅威から、標的型攻撃やクライアントソフトウェアの脆弱性、パスワードの使いまわしのリスクといった、覚えておくべきキーワードについて説明。このほか、クラウドサービス、スマートデバイスといった、中小企業経営者も活用を始めているITインフラに関するリスクを解説した。

講習会でもテキストの棒読みにならないようにするために、最近のトレンドの解説を行うことは重要であり、非常に好評であったが、具体的な事例や技術情報は変化が激しいため、地域で講習会を行う際に、講習内容に盛り込むみやすくするための工夫をする余地があるだろう。

【意見抜粋】

■ プログラム構成について

- ・ 国の動き、最近の事件の状況、対応策が有益だった。
- 最近のリスクが紹介されて知識の幅を広げるのに非常に役立ちました
- ・ 最近の事例について要点・ポイントに絞った説明がなされ非常に分かりやすく 理解出来ました。
- ・ 指導者として受講者のレベルに応じてどう伝えるかという事が拝聴したかった。
- ・ 組み立て方や指導という事に対する手法・テクニックが聞きたかった。

■ 内容への意見について

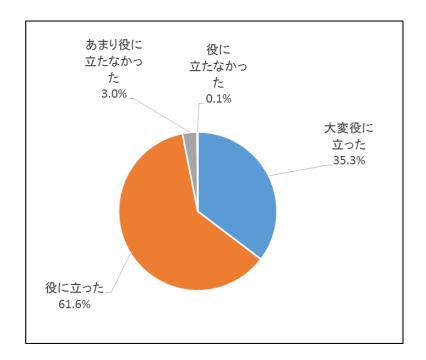
- ・ 経験や事例をからめて説明いただき分かりやすかった。
- ロ頭で話される内容の方をドキュメント化してほしかった。
- ・ 補足資料として技術的な解説資料があるといいなと思います。
- ・ もう少し中小企業の経営者向けの視点も取り入れた方が良い。
- ・ 説明内容をもっと中小企業にスポットをあてる方が良い。
- 大手企業との取引に係るセキュリティの注意点などももっと増やしていただきたかった。

■ 紹介できる事例について

- セキュリティ事件の実例一覧が対策を考えるために役立つ方法だった。
- 標的型攻撃メールの事例を具体的に聞けたのが理解に役立った。
- ・ スマートデバイスのセキュリティ対策事情が具体性のある事例で説明してもらえて 理解に役立った。
- Android デバイスマネージャの話を聞けるところはなかなか無かったので良かったです。 持ちネタを増やす事の大切さを感じました。資料以上の内容を語るというのが大切そう ですね。
- 「マイナンバー」制度スタートが本年であり、セキュリティの知識整理に役立った。 最新情報が反映されているのも利用できそうです。

② リスク洗い出し演習

回答項目	回答数
大変役に立った	272 名
役に立った	474 名
あまり役に立たなかった	23 名
役に立たなかった	1名
合計	770 名



今回の演習タイムスケジュールは、リスクを洗い出すフェーズと、洗い出したリスクに対してチェックリストを作成するフェーズに分けて実施した。まず最初のリスク洗い出し演習では、ある中小企業を想定して、業務の中に潜んでいるリスクの洗い出しを行った。特に、業務フローと情報システムの両面の視点でのリスクを洗い出すことで、問題の真因を発見することに主眼を置いた。さらに問題に対して行ったセキュリティ対策についての有効性や実施度合を測るために"聞く""見る" "試す"という方法で確認できるようにした。

対策を行う上での基本となる部分であり、リピート受講者やリスク洗い出しの経験者も多いことから演習はおおむねスムーズに進んだが、業務フローと情報システムとの視点でリスクを確認することや、"聞く""見る""試す"という方法で確認することは、より具体的でわかりやすいと好評であった。

【意見抜粋】

■ プログラム構成について

- 自らのアイデアには限界があるので討論は役だった。
- ・他グループの発表に自分たちの視点と違った論点があって大変参考になりました。
- もう少しディスカッションの時間があれば良かった。
- ・ 役に立ったが、実習の進め方や回答の記述の方法が少し分かりにくかった。 ワークの際に役割が不明瞭のまますすめてしまったので、役割が決まっていることを 確認するように講師から促して欲しい。
- ・ 議論する時間がもう少し欲しかった。チーム毎に項目を分けてもらって、集中議論する 方法も検討して欲しい。

■ 内容への意見について

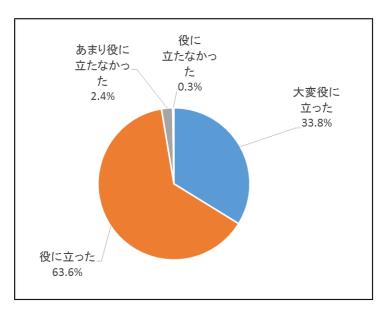
- ・ 演習内容が具体的で良いと思います。
- ・ リテラシーの低い企業を相手に指導を行なうわけだから事例をもう少し易しくしないと 対応が難しいと考えます。Web サーバ、DMZ 等語句がまず難しいです。我々ITC の知識たなおろし等でもやや難解なレベルと受け止められました。
- システム投資の金額とかがわかれば選択肢を選びやすい。

■ 配布資料について

- ワークショップする内容を具体的にテキストに掲載する方がわかりやすい。
- 発表用の用紙はフォーマットがある程度準備されていたほうがよい。

③ チェックリスト作成演習

回答項目	回答数
大変役に立った	255 名
役に立った	480 名
あまり役に立たなかった	18名
役に立たなかった	2名
合計	755 名



今回のセミナーの目的としては、セキュリティ対策に行っただけではなく、常にその対策が有効 に機能しているかを日常の業務の中でチェックを行い、もしも有効でなく情報漏えいや攻撃のリス クが高いと判断した場合には、速やかに対策の見直しを行うことができるようにすることであった。

このため、プログラムのなかでもチェックリストの作成演習が一番重要といえる。対策として行っているチェックやルールの運用を確認し、現実的ではないルールや、形骸化したチェックを行っていないかを確認し、見直しが必要な部分の検討を行うことで、PDCA の C・A を意識し、日常的に見直しする必要性を学んでもらった。

前年度と同様に前のフェーズで行ったリスク洗い出し演習でのリスクを前提にして、その組織に 見合ったチェックリストを作成したが、前年度は、ビデオに出てきたセキュリティ 10 則の見直しとし て行ったため、前提条件が明確でない部分については一般的な対策となりがちであった。今年度 は、リスク洗い出し演習を基にして、ゼロベースでその想定企業に必要なチェックリストを作成した ことで、幅広い討議ができたと思われる。

現実の社会でもチェックリスト等を作成する者が、すべての情報を漏れなく知っていることはまずありえないため、議論をする中で対象組織が抱える課題を想定しながら、その都度確認をしながらチェックリストを作成した。現実の業務の中でも同様の困難に遭遇するであろうことから、安易に回答を用意するのではなく、不明点は細かく確認していく姿勢が重要であることも伝えていく必要があり、指導者に伝えるべき重要なことであると考えられる。

【意見抜粋】

■ プログラム構成について

- ・ 設定状況が複雑で短期間の演習では把握が難しかった。
- ・ 演習におけるグループ討議の時間をもう少し増やして欲しい。

■ 内容への意見について

「チェック」に視点を置くことは良い事だと思う。

- 見る・聞く・試すで現状を正確に把握する考え方は、他の内部監査でも応用できる。
- 他グループの発表に自分たちの視点と違った論点があって大変参考になりました。
- チェックリスト作成によって問題点が明確になっていくことが理解できた。
- 一人では気付かないリスクに気付く事が多く、考える力がつきました。
- リスクの洗い出しと対策までしか考えないところがあったので良かったです。
- 中小企業で実施可能な施策を検討できる流れが必要だと考えます。
- 現場のチェックリストより経営者の意識をチェックするリストの方が重要。

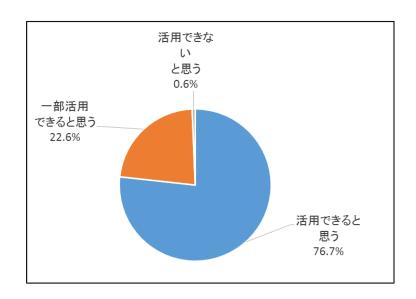
■ 配布資料について

- 発表用紙はフリーフォーマットでなく、定型化した方が書きやすい。
- 発表用紙に工夫する必要があると思います。演習用紙のままで良いのでは。

(キ) 使用教材や講習会支援ツール

① テキストは今後の指導において活用できそうか

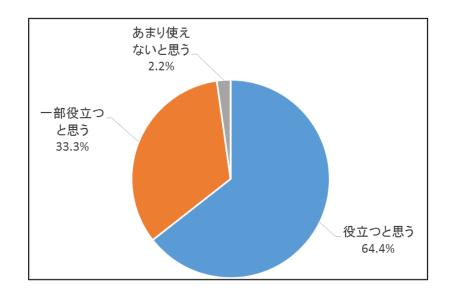
回答項目	回答数
活用できると思う	597 名
一部活用できると思う	176 名
活用できないと思う	5名
合計	778 名



テキストの活用可能性を確認したところ、「活用できると思う」(76.7%)、「一部活用できると思う」(22.6%)と、ほとんどの方に支持を得た。今年度は大きな構成変更は行わなかったが、毎年できる限り最新データやスマートデバイス・クラウドといったこれから注目されるIT利用に関する情報を追加し、講師としてのトピックスも含めて掲載してあることで、中小企業を指導することが多い経験者ほど使いやすいと感じてもらっている。

② 講習会サンプルスケジュールは今後の指導において活用できそうか

回答項目	回答数
役立つと思う	489 名
一部役立つと思う	253 名
あまり使えないと思う	17名
合計	759 名



③ 前年度までの意見として、「ボリュームが多すぎてすべてを説明できない」、「中小企業の 社長には説明しても分からない」などが挙げられていたため、今年度は受講対象者の情報 セキュリティの知識レベルに応じて、IT 初心者向け、IT 基礎理解者向け、IT 上級者向けの 3 つのレベルごとに 2 時間ほどで講習会ができるように「講習会サンプルスケジュール」を 作成し、午前のプログラム中で活用方法を説明した。講習会プログラムの流れを作った経 験がない方には、テキストの活用イメージを持ってもらいやすかったようである。

しかし、中小企業の経営者等に対しては、さらに短時間での講習会が必要であったり、日常のコンサル業務の中の一部時間しかセキュリティの実態や対策の必要性を説明する時間は確保できない場合もあるため、指導者の伝える技術向上はまだまだ課題であるといえる。

(ク) セミナー全体に対する感想や意見

総合的な意見としていただいているもののほとんどが、好評価の意見であり、特に、テキストは中小企業向けで講習で使いやすいとの評価を継続してもらっている。また、前年度まで実施した内容を踏まえ、その年度ごとに必要な情報セキュリティ課題の中からポイントを絞ってテーマを決める演習については、評価が高く、もっと時間を割いても受講したいという意見が多かった。

本事業も7年目に入り、毎年指導する方のスキルアップを中心に考えてプログラムを考えており、継続して受講いただいている方からは「毎年アップデートされた内容で非常に参考になる」、「時代に合った内容となっておりすぐに役立てられる」と有効性を評価いただいている。また、初回受講の方も多いことから、初めて参加してもある程度理解できるような教材作りを意識し、指導用ツールや演習資料の開発を行ってきたところである。

今年度も全国で多くの方に受講いただいており、より良い内容とするための厳しい意見も含めて、非常に多くの参考になる意見をいただいており、それだけでも本事業への期待を感じさせるものとなっている。紙面の都合上、以下にさらに改善するための意見として代表的なものを抜粋して記載させていただく。

① プログラム内容「情報セキュリティ最新動向の解説」について

- ・ 中小企業を指導するためのポイントを中心に話をしていただいたほうが良いと思った。また、中小企業にセキュリティの大切さを啓蒙する事例など知りたい。
- ・「日常予防」→「インシデント発生時」→「事後措置(再発防止)」のそれぞれについて体制づくりも含めた仕組みづくりの要諦を拝聴したかった。

② プログラム内容「リスク洗い出し・チェックリスト作成演習」について

- ・ 運用フローとシステム対応が混在している所について、演習の導入部分で少し戸惑う点がありました。
- リスクの洗い出しでは、業務フローのリスクかシステム環境のリスクか切り分けが難しいと感じた。
- ・ 演習の前提条件(フロー図)が分かりづらい。
- ・ 演習の説明用のページと回答用のページは、見比べにくいため別に綴じて欲しい。

③ セミナープログラム内容について

- ・中小企業の中でも特に小企業がそこまでやるのかな?という内容が多かった。中小企業の中でも中小企業と小企業、零細企業と分かれるのでそのあたりの話をすべきではないか?と思いました。実際の小企業などの事例があると良かった。
- ・中小企業向けが目的であるので、そのトップ視点で内容を強化いただきたい。事例を増 やすとか、一般的動向を分かりやすく解説する等。また、やらない場合のデメリットを示す のも有効。
- ・ 我が社では、システム的な対策はほぼ出来ているが、ヒューマンエラーでの軽微な事故 が発生しています。 意識を向上させる為のセミナー等が有ったらいいなと思います。
- ・中小企業向けだからお金のかからない方法のみ、というのは少し現実から離れていると思います。中小企業でもセキュリティに対してお金を掛けないといけない所は掛けないといけないわけですから、もう少し前進しても良いのではないのでしょうか。

- ・ インシデントの統計や傾向についての説明が有ると助かります。ビデオ上映などを多くし、 ディスカッション時間比率を少なくすることで、実際のセキュリティ研修に近い形での運用 も検討して欲しい。
- ・ 具体的データによる被害の状況、被害の具体的事例等、中小企業、零細企業にアピールするためには実例に基づく危機意識の醸成から必要であるため、講義の内容を充実させて欲しい

④ セミナー開催全体について

- ・ 講習支援制度の期限(年度2月まで)を考えると、セミナーは夏までに実施した方が良い と思います。
- ディスカッションをして分かった事だが、スキルセットの開きが大きい。募集の際にスキルセットも明記した方が良いと思った。
- ・ 事前に業務レベルなどが分かるようなら各チームのレベルをあわせるようなチーム編成 にするなどの調整が必要。
- 指導者向け研修としてもっと実践的な内容にし、基礎がない人には別で基礎講座をやる といい。

⑤ 指導用ツール等の要望

- ・中小企業向けに使用できるコンテンツが減っている気がするため、ビデオ教材、最近の 動向をふまえた事例が欲しい。
- ・ テキストに、重要度レベル(必須・重要・注意)分けがあると良い。
- DVD 教材があるほうが、入門セミナーにも、ディスカッション形式にも使えるので、制作してほしい。
- ・ IPA の大量の資料、教材があり大いに使わせてもらいたいと考えているが、多すぎて整理に苦労しそうであり、もう少し絞り込んだほうが良い。
- ・ リスク洗出し、チェックリスト作成演習を、地域での研修にも使用できるように資料提供していただきたい。

第9章 開催会場からの意見

開催に協力いただいた商工会議所、商工会連合会等(17 会場)に、地域の中小企業における情報セキュリティ対策の現状を踏まえつつ今回のセミナーに関する意見を取りまとめた。

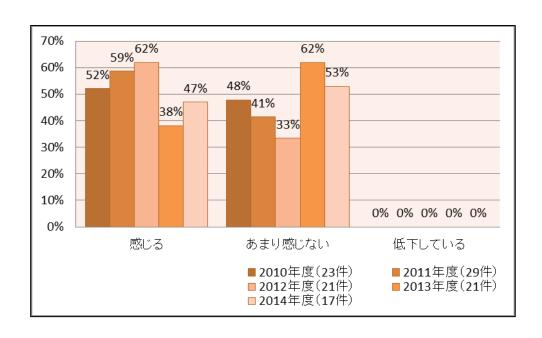
なお、複数回答設問については設問回答数合計が17件以上、回答がなかった設問は回答総数の17件に満たないものがある。

(ア) 昨年度と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識は向上してきたと感じるか?

感じる	あまり感じない	むしろ低下して いると感じる
8	9	0

事故や実害があって初めて対応を考える企業はまだまだ多く、昨年よりも意識の向上を感じるとの回答割合が若干上昇したものの、47%と半数にとどまり、以下の過去 5 年間のグラフを見てもまだまだ意識向上を実感できるほどではないようである。それだけ一般的には情報セキュリティ意識を持つ重要性が上がっているのに比較して、中小企業の意識はまだまだ上がっていないという状況がうかがえる。

個別意見としては、自社への影響とは認識していない中小企業はまだまだ多いと感じられている。しかし、昨今の情報漏えい事件などの報道により、徐々にセキュリティへの危機感は意識され始めているようだ。さらに自社にも起こりうることだという認識を持たせる機会を増やすためにも、本セミナー等を通じて継続して意識アップをしていく環境を作っていく必要がある。



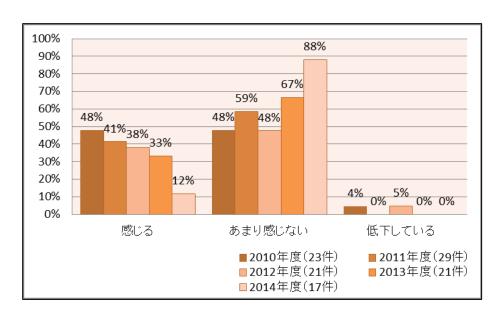
【自由意見】

- ・ 意識向上は感じるが"まだ"という感じ。少しずつ意識はされだしているとは思います。
- ・ 新聞等ではセキュリティの脅威が随時取り上げられているものの、自社のシステムについて認識していない中小企業はまだまだ多いと感じています。
- 意識はあるが、それに対応できる予算・時間が取れない事業所がほとんど。
- マイナンバーの実施や昨年の事件で向上していると思われる。
- (イ) 昨年度と比較して情報セキュリティ対策に取組み始めている企業が増えていると感じるか?

感じる	あまり感じない	むしろ低下して いると感じる
2	15	0

実感として感じているという意見もあるが、以下の過去 5 年間のグラフを見ても全体としては下降傾向。日頃からITやセキュリティにわずかでも携わっている方と、地域の中小企業の意識のかい離が大きくなってきている結果ではなかろうか。そのため、地域企業からの情報セキュリティ対策の情報提供の要望が少なく、そのためさらにセミナー等の機会を作らないという負のスパイラルに陥っている可能性がある。

今後、中小企業の経営層に対して対策強化を訴えて行くためには、定期的な状況調査により、 客観的な視点での適切な施策や活動の提言を行っていく必要があるだろう。



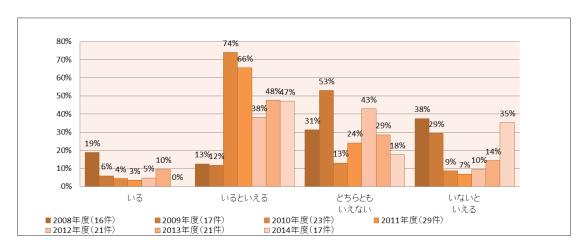
【自由意見】

- 企業の取組みに関する指標を、本施設で持っていないため正直分からない。
- 実施していない企業は今までどおり。
- (ウ) 地域における指導者的立場の人材の現状についてどう思うか?

十分にいる	十分ではない がいる	どちらとも いえない	あまりいない
0	8	3	6

まだまだ十分にいるという地域は少ないが、ITコーディネータなどの中小企業の視点での相談 先の活用に期待する声があった。

人材がいても、中小企業などからの相談も少なく、その方たちを活用するための仕組みがない のではないかという意見もあった。各地域ごとに、中小企業、指導者、公的機関を横断したコミュ ニティや指導体制の構築を考える必要があろう。



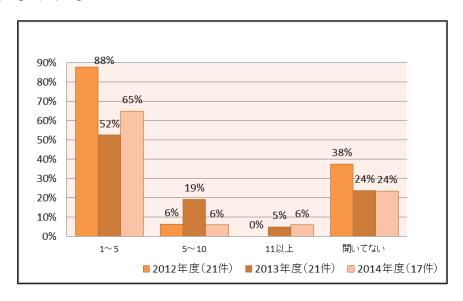
【自由意見】

- 具体的な相談事例等がないためわからない。
- ・ 求められる水準は多階層あるだろうが、全体として決定的に不足していると感じる。
- ・ 東京においてはITベンダーの数は多いが、中小企業の身になって相談にのるスタンスの ところは少ないように感じる。
- ・ 中小企業にとっては、ITベンダーの専門用語が理解できず、見積書の記載内容の評価が 出来ないため、「騙されているのではないか」という概念がぬぐえないのでは。
- (エ) 各団体が主催の情報セキュリティに関するセミナーの年間開催数

1~5 回程度	5~10 回程度	11 回以上	開いていない
11	1	1	4

開催頻度は少ないものの、ある程度は情報セキュリティに関するセミナーを開催されている。ただし、経営・税務相談や IT 活用といった業務で優先的に必要とするセミナーがどうしても多くなるという意見が多い。情報セキュリティ単独でのセミナーでは集客も難しいため、経営に必要な内容との同時開催をしたり、関連する内容として講義内容を盛り込むなどしなければ、なかなか地域の公的機関単独でのセミナー開催は難しい現状のようである。

経営に関係する内容に関連した内容にしたり、短時間で行える資料やセミナー内容の検討も 必要かもしれない。



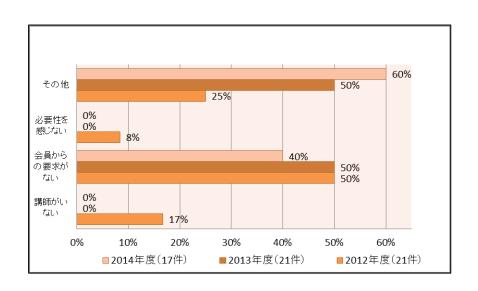
(オ) 前記設問で「開いていない」とお答えの団体の理由

講師がいない	会員等からの 要求がない	必要性を 感じない	その他
0	2	0	3

開催していない理由は様々だが、「意識をあまり感じない」。「参加者が集まりにくい」などの理由が挙げられた。積極的に実施するという認識は低く、希望があれば検討するという意識であるため、まだまだ地域で主体的に活動いただくべき各団体の意識向上も必要だと感じる。

実施希望がないため実施せず、その結果として情報セキュリティ意識は低いままで他の地域に 比べて取り残されてしまう、という負のスパイラルに陥らないためにも、本事業で指導者となってい ただいた方々と、各団体が一体となって中小企業への意識啓発を行うことが必要であろう。

そのためには、各地域ごとの特性を把握しながら、主体的に活動してもらえる環境作りを更に強化して行くべきであろう。

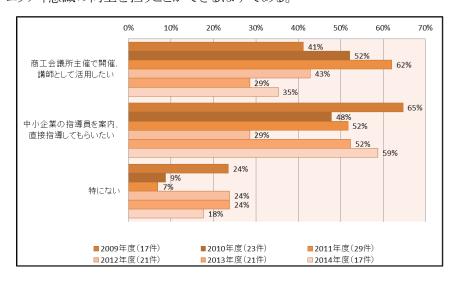


(カ) 指導員として対応できる方がいた場合、次のような講師等の対応機会はあるか。

対応項目	回答数
商工会議所などが主催でセミナー等を開いて講師として活用したい	6
中小企業に指導員がいる事を案内して、講師として活用したい	13
特にない	3

活用を考えているという意見は、前年に比べて増えていない。これは講師個人の能力の問題ではなく、団体として情報セキュリティのセミナー等を実施することは、企業の要望の少なさなどから考えて集客ができないだろうとの判断であるようだ。

ただ若干ではあるが、指導者に直接指導してもらいたいという要望は再び増えてきており、指導 の必要性は高まってきているようだ。前項目でも記載したが、本事業で指導者となっていただいた 方々と各団体が一体となって啓発セミナー等を開催することで、中小企業にまず必要な情報セキ ュリティ意識の向上を担うことができるはずである。



第10章 指導者による地域での講習会の開催

指導者育成セミナー受講者が、実際に指導者として各地の中小企業の経営層の方々に対する「中小企業向け情報セキュリティ対策講習会」を実施してもらうことで、本事業の目的とする中小企業経営者への指導者としての経験を積んでもらうこととしており、今年度も積極的な開催を推奨してきた。

対象とする講習会は、2015年2月末までに開催し、10名以上に対して最低2時間を実施。中小企業の企業内の情報セキュリティ対策を行う経営者等に対して、講習用テキストの内容やセミナーで行った演習に基づいて、講習会を行うこととした。

また、講習会を実施する指導者として、地域の中小企業に広くお知らせするため、指導者氏名等(希望内容のみ)を本促進事業のホームページに掲載した。

<指導者のご紹介ページ>

http://www.jnsa.org/ikusei/seminar/instructor.html

講習会を開催した際に、参加した受講者からアンケートを収集するとともに、開催状況を当協会に報告してもらっており、実施された講習会の実施状況等を以下に記載する。

(ア) 開催回数・・・・・・30 回

今年度は30回(445名)と前年度の43回を下回った。前年度はセミナー開始時期より前に前年度までに指導者として登録された方全員に講習会実施依頼を案内したが、今年度はセミナー受講時に講習会の案内をし、あらためて指導者登録してもらった関係もあり、開催の計画から実施までの期間が短いとの理由で、実施に踏み切れないでいる参加者も多かったようである。

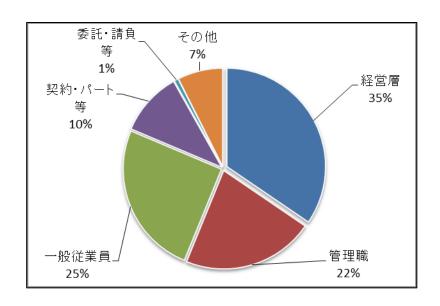
講習会の内容は、ほぼすべての講習会でテキストを活用、リスクアセスメント演習は 13 件、その他の手法が 21 件であった。

開催時間の平均は2.6 時間であり、昨年同様2H~2.5Hが6割を占め、2 時間程度が経営層を含めた中小企業の従業員を拘束出来る時間の限界と思われる。1 回の講習内容としては、テキスト1.40 時間、ビデオ1.10 時間、その他1.12 時間と、座学だけではなくこれまでに制作したビデオや演習も活用して飽きないための工夫をしていただいた。

また、1回あたりの参加者数は約15名であり、30名以上の大人数での実施も出てきている。

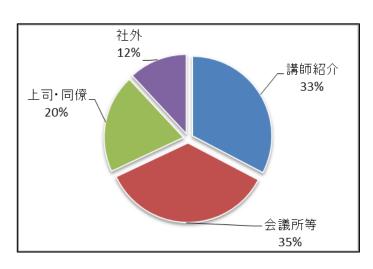
(イ) 受講者・・・・・・429名

役職階層別内訳		受講者数
経営層		148
管理職		93
一般従業員		108
契約・パート等		45
委託・請負等		3
その他		32
合計		429
再掲:	専任	50
情報セキュリティ担当	兼務	185



(ウ) 講習を知ったきっかけ

回答項目	回答数
講師からの紹介	145
会議所等	157
上司·同僚	89
社外	53
合計	444

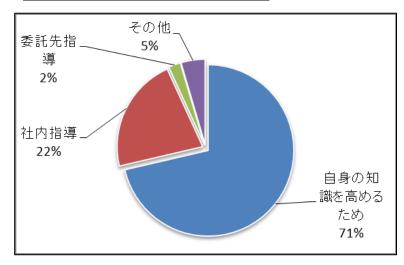


(エ) 講習会への参加回数

回答項目	回答数
初回	287
2回目以上	134
合計	421

(オ) 講習会への参加目的

回答項目	回答数
自身の知識を高めるため	344
社内指導	105
委託先指導	11
その他	22
合計	482



(カ) アンケート集計結果

① 講習内容について

(1) 講義全体

満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満
183	156	84	9	0

(2) 難易度

簡単	やや簡単	ちょうど 良い	やや 難しい	難しい
54	64	252	56	8

(3) 理解度

理解	ほぼ理解で	普通	やや理解で	理解でき
できた	きた		きなかった	なかった
143	154	109	21	4

(4) 進行の早さ

早い	やや早い	ちょうど 良い	やや遅い	遅い
10	83	328	11	3

(5) 時間数

短い	やや短い	ちょうど 良い	やや長い	長い
11	57	302	51	4

(6) この講習を他社に紹介したいか

ぜひ紹介	紹介	どちら	あまり紹介し	紹介したく
したい	したい	でもない	たくない	ない
56	228	134	2	2

講師ごとに同じ講習内容で行ったわけではないため単純比較は難しいが、おおむね好評というアンケート結果となった。

特に、テキストの評価は依然として高く、中小企業のレベルに合っているという意見が多く聞かれた。時間数は平均で 2.6 時間であるが、大半がちょうど良い感じているアンケート結果であり、2 時間程度が目安であるといえる。

また、ビデオを使った演習は今年度も好評であり、テキスト解説だけでなく、ビデオ視聴の後でポイントをテキストで説明するという簡単な内容でも、「自社のセキュリティを考える機会になった」などの意見もあり、気づきを与えることができたようである。

② テキストについて (難易度)

簡単	やや簡単	ちょうど 良い	やや 難しい	難しい
22	42	270	73	8

今年度は大幅な構成変更は行わず、前年度までのテキストの情報を最新化することを中心に 改訂を行った。公表されているグラフやデータの最新化や、重要キーワードの内容見直しといっ た状況が変わりやすいものの最新事例などを差し替えた。

受講対象者のレベルにもよるが、今回のセミナーではテキストの必要部分を選択して 2 時間程

度で講習会を実施できるように講習会サンプルスケジュールを作成したこともあり、おおむね好評 価をいただいた。

情報セキュリティ知識は非常に広範で、なおかつ奥も深いだけでなく、日々状況が変わるため、 今後も最新データはもちろん、脅威や対策の動向は改訂して行くべきであろう。

③ 今回の講習会を受けて、情報セキュリティ対策を適切に実施できそうですか?

自信がついた	やや自信が ついた	何とか できそう	やや不安	不安
57	113	164	69	14

6 割以上の方が、講習会参加により、対策を実施できそうだと感じてもらえている。また、自分の意識や知識の低さを認識したり、現実としての脅威を実感するなど、実践や対策実施のためには、正しい知識を持つことと、日々のチェックが重要でであると気づいてもらえた。

(キ) 情報セキュリティに関する相談者の現状

(1) 相談をできる方の有無

いる	いない
283	131

(2) 1.で「いる」とお答えの方が相談する方

対象者	回答数
IT コーディネータ	67
中小企業診断士	15
EC 実践研修認定講師	4
日商マスター	2
公認会計士·税理士	25
弁護士・司法書士	15
商工会議所など	13
講習会講師	54
社内 IT 管理責任者	67
メーカー・ベンダ SE	49
量販店の SE	13
その他	33

(3) 1.で「いない」とお答えの方の相談する方の必要性

必要	不要	どちらとも いえない
68	13	56

相談者で一番多いのは「ITコーディネータ」と「社内 IT 管理責任者」であり、本事業の趣旨であるITコーディネータによる指導が進んできているほか、企業内での指導者育成も重要になってきている。

また、3割の方は誰にも相談できないでいる現状があり、中小企業が事業を進めるうえで参考になる情報を持ち、なおかつ情報セキュリティ知識を保有している人材の育成とマッチングが必要である。

相談する者がいないと答えた者のうち、必要だと感じているものは前年とほぼ同じく約半数しかいない。前年度調査時と変わっておらず、地域での指導者育成と、適切な指導者の必要性認知を進めていく必要がある。

(ク) 指導者意見抜粋

- 動画に関して聴覚障害の方に配慮した字幕付きを製作いただければと思います。
- ・ 「フラワー通りの 7 人」は業種がいくつかあるのでどの中小企業でも当てはまりやすいので 使いやすい。
- ・ 今回はペーパーによるリスク洗い出し演習を行なったが、中小企業向けには以前のような ビデオ視聴による演習のほうが興味を持ってもらいやすいと思う。
- ・ マイナンバーを主軸のテーマとしたことで、セキュリティへの興味が薄い経営者・管理職の 参加が思ったよりあった。制度への関心度は一般企業以外にも県庁職員・非営利法人(公 益法人・社会福祉法人等)も高く、従来のセミナーの参加者構成が異なるという結果であっ た。個人情報や情報セキュリティという範囲が漠然としているテーマよりも「もらしてはいけない」マイナンバーへの対応を切り口としたコンテンツ構成の方が結果的に情報セキュリティに関する対応を効果的に行なえるのではと考える。
- ・ 受講者の情報セキュリティに対する意識はかなり高く、グループディスカッションでも盛り上がりが感じられた。自組織内に持ち帰り、組織として意識が高まることが期待される
- ・ 参加者の目的が異なり、立場や情報セキュリティに対する理解度も異なる点が講師側の立場として内容説明が難しいところ、とは思った。
- ・ 意識が高い方はこのような講習会に参加いただけるが、意識が無い人にどのように発信していけるかが課題であると感じます。情報セキュリティの取組みにおける成熟度の格差が大きく広がっているように思います。
- ・ 中小企業では対策をとることへのコスト等、ハードルが高い。 意識はあっても対応が出来ない場合の対応方法が知りたい。

第11章 まとめ

IPA に主催が変わったものの、経済産業省の中小企業情報セキュリティ対策促進事業から通算して、7年目を迎えた今年度も、中小企業を指導する立場にある様々な方々等を受講対象者とした「情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー」を実施した。企画にあたっては、事業趣旨はもとより前年までの成果や課題を基に内容検討を行い、中小企業の経営者に対して指導者がより効果的に指導が行えるセミナーとして実施にこぎつけた。最終的に全国19都道府県で全20回開催することが出来たが、約5ヶ月という短い期間で開催したにも関わらず、参加人数は835名と若干前年を下回ったものの、予定した会場すべてで開催することができた。それぞれ無事終えることができたのは、主催であるIPAはもちろん、後援をいただいた日本商工会議所、商工会連合会、ITコーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、中小企業診断協会、株式会社商工組合中央金庫、さらには地域のNPOなど多くの関係機関の皆様の協力の賜物である。

今年度は、過去6年間実施した中での課題点と、過去のセミナー受講で成長してきている地域の指導者のスキルレベルを勘案し、中小企業で行われている情報セキュリティ対策を、日常業務の中での点検・チェックの重要性と手法を取り入れ、必要に応じて対策の見直しを行う意義や方法を重視したカリキュラムとした。グループ討議も、対象企業の運用状況をチェックし、チェックリストを新しく作るという演習方法でのセミナーとしたことで、これまで以上に中小企業の指導に役立つ内容だという意見を多くいただいた。

さらには、受講いただいた参加者が指導者として、地域企業を対象に講習会を行ってもらう施策を継続して実施。講習に参加した中小企業の意見には「まずはできる対策から行いたい」、「自分たちにも関係があることが分かった」といった感想が多くなっており、中小企業の経営者への情報セキュリティ対策の重要性への気づきを与えることが出来たことは、本事業主旨に沿った結果として大きな成果であった。

セミナーを実施する中で、各地での参加者や会場となっていただいた各団体の皆様から、叱咤激励を 含めて今後に向けての貴重なご意見をたくさんいただいており、継続してのセミナー開催や、地域での 支援施策を期待していただいている。来年度は、様々な課題を認識し、実施効果を意識しながら具体的 施策を検討し、参加者がより指導的立場で多くの中小企業に接し、「情報セキュリティ」の本質を伝えてい ただくような、効果的な施策を行っていくべきであろう。

最後になるが、中小企業に向けた情報セキュリティ普及啓発業務の最終目的を実現するためには、 我々事業を実施する側からのアプローチだけではなく、地域の拠点としての商工会議所や都道府県中 央会等、あるいはITコーディネータや中小企業診断士を始めとする指導的人材、中小企業の経営者・従 業員の企業側の人材のそれぞれの組織・立場の方たちが目的を明確にして、力を合わせた活動にして いくことが重要であろう。関係各位の更なるご協力・ご支援をお願いする次第である。

平成27年3月発行

発行:特定非営利活動法人日本ネットワークセキュリティ協会 東京都港区西新橋 1-22-12 JC ビル3F

E-mail:sec@jnsa.org URL: http://www.jnsa.org/

「中小企業に向けた情報セキュリティ普及啓発業務」は
独立行政法人情報処理推進機構(IPA)の事業であり、
特定非営利活動法人日本ネットワークセキュリティ協会(JNSA)が請け負い実施しています。
http://www.jnsa.org/ikusei/